



碧南ロータリークラブ週報

第2711回例会 平成26年11月12日(水)

- 会長 石橋 嘉彦
- 幹事 伊藤 正幸
- 会場監督(SAA) 清澤 聡之

2014-2015 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内 TEL<0566>41-1100
- 例会場 碧南商工会議所ホール 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



- 会報委員 奥津順司・藤関孝典・岡本彰人

● 斉 唱

ロータリーソング「我等の生業」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

将棋棋士 南 芳一様

高浜 RC I.M.実行委員長 浅岡憲隆君、I.M.副実行委員長 田代清一君

会 長 挨拶

立冬も過ぎまして、暦の上では冬という事になっておりますので、お体には十分ご留意して頂きます事をお願い申し上げます。

11月8日に地区の審議会がございました。RIへの立法案を提出するための審議を行いました。特に立法案につきましては、細則、または定款を改正する制定案と、組織規定を改定しないものが決議案という事になっております。今年は地区大会の開催時期の関係で、この時期に行いました。この審議会では決議をもって提出する事で決定されました。今後は、地区審議会は3年に一度の規定審議会への立法案の議題及び、ガバナーの諮問事項について答申する事を目的に、議決する権限を持っているわけでございます。



石橋嘉彦会長

今回、各クラブから5件の議案が提出されました。その中の決議案としての1件が承認されました。これを2016年のRIの規定審議会にかけますので、その際に2760地区の決議案が採用されるかは、楽しみでございます。

また、11月9日ですが、第23回市民ふれあいフェスティバルが開催されました。あいにくの雨でしたが、大勢の人々で賑わいました。碧南 RC もロータリーデーの一環として参

加致しました。特に広報委員会の皆様には、大会準備から設営まで大変ありがとうございました。この場をお借りしまして、お礼申し上げる次第でございます。

幹 事 報 告

本日は伊藤幹事がお休みですので、代わりに副幹事の新美がご報告させていただきます。4点、ご報告させていただきます。

- ・ 第5回理事会報告と、例会変更は幹事報告書の通りですが、若干補足事項がございますので、ご説明させていただきます。



新美雅浩副幹事

RYLA セミナーにつきまして、青少年奉仕委員会の鶴田委員

長よりご報告がございます。2名の方に受講して頂きます。本年度は、2015年3月21日、22日の土日に、愛知県美浜少年の家で開催されます。協議事項の中で、春の家族会について審議がされております。後ほど、親睦活動委員会の服部君からご説明させていただきます。また、赤い羽根の共同募金につきまして、今週と来週の2週、募金箱をお返ししておりますので、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

- ・ ガバナーエレクト事務所より、次年度の地区委員会委員承認及び、推薦のお願いについての案内が届いております。地区委員会へ出向を希望される方におかれましては、本日中に事務局までお申し出下さい。
- ・ 11月9日に開催されました、碧南市のふれあいフェスティバルにおいてロータリーデーを開催し、碧南 RC の広報活動を致しました。お越しいただきました会員の皆様、そして広報委員会の皆様にはご協力頂きまして、大変ありがとうございました。当日の写真を次週の週報に掲載させていただきますので、ご確認下さい。
- ・ 11月19日の例会ですが、夜間例会になります。午後6時からですので、お間違いないようによろしくお願ひ致します。お酒等が用意されておりますので、お車のご配慮をお願ひ致します。席は自由席になりますので、よろしくお願ひ致します。

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 69 名 (内出席免除者 17 名の内出席者 11 名)出席者 54 名	
出席対象者 54/63 名	出席率 85.71%
欠席者 15 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

高浜 RC I.M. 実行委員長 浅岡憲隆君、I.M. 副実行委員長 田代清一君

高浜クラブより I.M. のお願ひにまいりました。よろしくお願ひします。

石橋 嘉彦君 11月9日の第23回市民ふれあいフェスティバルが盛大に開催され、会

員の皆さんもそれぞれの立場でご参加され、ご苦労さまでした。碧南ロータリークラブもクラブロータリーデーの一環として参加致しました。広報委員会の皆さんには準備より設営までたいへんご苦労様でした。

- 木村 徳雄君 11月10～11日、商工会議所建設部会研修で石橋嘉彦さん、竹中誠さん、新美真司さん、藤関孝典さん、おつきあいして頂きましてありがとうございました。
- 新美 真司君 第40回社会人野球日本選手権で、次男が所属するトヨタ自動車が優勝しました。
- 奥田 雪雄君 6月に心肺停止を致しましたが、11月に入り、びっくりするくらいに頭もスッキリ、体調も大学病院勤務時代にもどった（30代）気がします。ありがとうございました。
- 山中 寛紀君 11月9日あいにくの雨天ではありましたが、第23回市民ふれあいフェスティバル無事終了することが出来ました。今回は初めてロータリーコーナー出展頂き、石橋会長様、伊藤幹事様始め担当頂いたRC会員の皆様に実行委員長として厚く御礼申し上げます。尚、ご多忙の中、開会式にご臨席頂いた平岩商工会議所会頭様にも厚く御礼申し上げます。〈追伸〉当日の地区研修会代理出席頂いた新美副幹事様にも心より御礼申し上げます。
- 新美 雅浩君 山中次年度会長エレクトの代理で会長エレクトの研修に参加させて頂きました。たくさん発言できる機会があり、また、多くの会長エレクトさんと情報交換ができ、一日がとてもゆううつでしたが、有意義な時間となりました。ありがとうございました。
- 黒田 泰弘君 本日の卓話の講師、南芳一さんをご紹介致します。

卓 話

「将棋について」

将棋棋士 南 芳一様



南芳一様

こんにちは。講演は苦手な方で、話が多少前後する事もあるかと思いますが、よろしくお願い致します。

今、棋士の中でもコンピューターの強さが話題になっておりまして、2年前に、亡くなられた米長当時会長がコンピューターと将棋を指し、公式戦ではないですが公の場で米長先生が負けました。引退はされていたのですが、百戦錬磨の方でしたので、コンピューターの強さをまじまじと感じました。

それを受けまして、昨年、コンピューターソフト5本と、プロ棋士5名と対戦致しました。プロ棋士側が1勝3負1分でした。引き分けというのは、将棋には持将棋というのがありまして、王様が相手陣地に入って詰まなくなる場合、決着をつけずに引き分けとします。これではプロとしての面目がないという事で、別のメンバー5人と選抜ソフト5本と対戦致しま

した。ソフトを事前に貸して頂き、研究したにも関わらず、1勝4負でした。来年も行われる予定です。

少し前にコンピューターソフトの大会がありまして、ベスト5が決まりました。優勝したのが、AWAKEです。売りは1秒間に700万手を計算します。2位は、Ponanzaです。これはアマチュアが勝ったら100万円という企画で166連勝しているようです。

プロとしては非常に追い込まれているので、楽しみではあります、プロですので楽しみと言っていられないところもありまして、非常に注目しております。

コンピューターが強くなったのは、2005年ぐらいにプログラマーの方で、過去のプロ実戦譜5万局のデータを登録し、考えながら指すという画期的なシステムができました。その後、プログラマー達が切磋琢磨し、ここ最近急に強くなりだしました。オセロやチェスは今までにありましたが、将棋はとった駒を使えるというのがあり、複雑でございます。当時は、将棋は難しいだろうと言われておりましたが、ここ最近は強くなってきております。

将棋は数値で表すと、10の220乗らしいです。

私は10歳から将棋を始め、最初はプロがあるのは知りませんでした。プロがあるのを知ってからは、ぜひなりたいたいと思うようになりました。4年前にお亡くなりになられました木下晃先生の元へ入門致しました。棋士は4段になって初めて棋士と名乗れます。6級から3段までは奨励会という所で修行しないとイケません。中学1年で受けてすべりまして、中学2年の時に、5級で入会する事が出来ました。

奨励会に入ると記録係をやります。NHKを見られると分かりますが、秒を読んだり、棋譜を書いたりする仕事です。持ち時間が1時間半のものから、6時間のものまであります。対局者は10時からだとそれ前に行き、板を広げ、駒を磨き、対局者を待つわけです。休憩は、昼食、夕食だけで、それ以外は正座で棋譜をつけます。長い人だと一手に3時間とかかけるのですが、自分の将棋じゃないだけについつい寝てしまいます。それが一番辛かったです。

どちらも持ち時間を使い切るとだいたい夜の12時ぐらいに終わります。終わった後に、感想戦と言って、お互い反省し合います。そうすると帰るのがだいたい夜の1、2時ぐらいです。奨励会は無収入です。記録をとると、3千円~4千円もらえます。当時の事を振り返ると、自分でも中々頑張ったかなと思います。

級を上げるには、6連勝、11勝4負という成績をとらないとイケません。段になると、8連勝、12勝4負、3段では、9連勝、12勝4負と段々条件が厳しくなります。私は3年半で奨励会を抜けまして、棋士になりました。

将棋連盟ではどのように収入を得るかといいますと、将棋連盟とスポンサーと契約しているのです。スポンサーから将棋連盟へお金が入ってきて、それを振り分けます。現在160名ほど現役棋士がおります。将棋にはタイトルが7つあります。竜王が森内さん、王将、棋王を渡辺さん、名人、王位、棋聖、王座を羽生さんが保持しています。

4段になると、まずは名人戦でC2組に入ります。A1組で成績優秀者が名人への挑戦権を得る事が出来ます。私はC2組に入ってすぐにC1組に上がり、翌年もB2組に上がりました。B2組で思い出深い対局がありまして、当時私は20歳ぐらいで相手は50歳ぐらいの先輩だったと思います。最初は優勢だったのですが粘られまして、千日手で引き分けになりま

した。30分休憩後、差し直します。それが2回引き分けまして、決着が着いたのが朝の7時でした。朝の10時から始まり、終わったのが朝の7時でした。それを泣かされまして、その年は昇級できませんでした。次の年にB1組へ昇級しましてA組まであと少しのところまでできました。内藤國雄先生と勝てば昇級という状況になりまして、ずっと押されっぱなしで苦しかったのですが、夜中の1時まで粘り、体力で勝ち、昇級できました。その年にタイトルも挑戦したのですが、当時桐山9段に1勝2敗で負けました。タイトル戦になると密室でやっていたのが、旅館やホテルになります。23歳の時に同じ桐山9段に挑戦し、タイトルを獲る事が出来ました。

それ以降タイトル戦によく出られるようになったのですが、防衛というのは中々出来ず、7回タイトルを獲りましたが、防衛出来たのは2回です。タイトル戦の中で思い出深いのが、現米長会長との王将戦が非常に覚えております。通常タイトル戦は中10日ぐらい空けて、ホテルを転々とし対戦します。挑戦者が米長9段と決まった時お互いにコメントを出します。私からすると米長先生は雲の上のような人で、棋譜を並べて勉強してきた大先輩でございます。横歩取り（乱戦）も出来ないような男に負けない、といった挑戦的なコメントでした。乱戦は、私としては苦手としておりました。こちらも25歳ぐらいでしたから、尊敬する先輩と言っても燃えました。いつもはひょうひょうとしておりますが、対局が始まると鬼気迫るものがあります。横歩を取って3勝1敗と追い込みました。しかしそこから気の緩みがあったのか、3連敗しましてタイトルを獲られました。翌年、挑戦権を得まして再びタイトルを奪取する事が出来ましたが、それが非常に印象に残っております。

名人戦では9年A組にいましたが、現在ではC1組でございます。A級で1回だけプレーオフに行った時もあと1勝で名人に挑戦出来ましたが、最後に米長先生に負けました。最近では残留を凌ぐのが精一杯でありまして、30歳ぐらいまではタイトル戦に出ていましたが、それ以降はがんばりが足りなかったのか、成績がよくありません。棋士の差し盛りは昔は30代、40代、現在では、20代、30代となっております。

戦術も段々と研究されております。好きで入った世界ですので、もう少し楽しんで差したいと思います。これを機に将棋に注目してほしいと思います。

本日はありがとうございました。

碧南ロータリークラブ ロータリーデー

11月9日（日）第23回市民ふれあいフェスティバル（於：碧南市臨海体育館）



次回例会案内

平成26年11月26日(水)

卓話「剣道・武士道・兵の道」 会員 渡部哲也君